

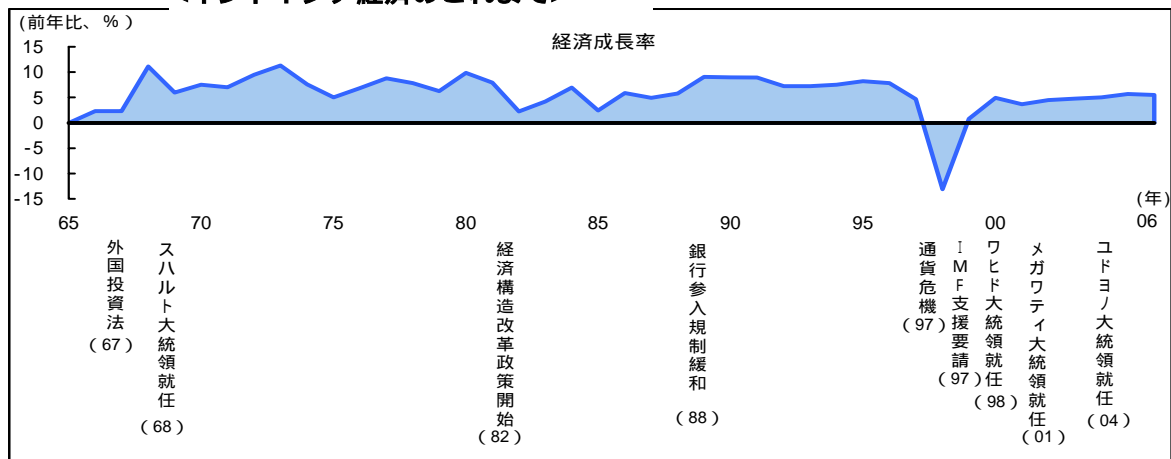
# 8 インドネシア

# Republic of Indonesia

<2006年>

人口	2億2,278万人 (日本の約1.7倍)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	1,636ドル	為替制度	管理フロート制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 12.9% 2次産業 47.0% 3次産業 40.1%	通貨	ルピア 1米ドル=9,159ルピア
		面積	190.5万km <sup>2</sup> (日本の約5倍)

<インドネシア経済のこれまで>



インドネシアの主要経済指標

		95～04年	2005年	2006年	2007年			
					政府	A D B	I M F	民間機関
実質GDP	前年比%	3.1	5.7	5.5	6.3	6.0	6.0	実質GDP
個人消費	同上	4.6	4.0	3.2	-	-	-	平均
固定資本形成	同上	2.9	10.8	2.9	-	-	-	5.9
製造業生産	同上	1.0	1.3	1.8	-	-	-	最大
消費者物価	同上	14.2	10.5	13.1	6.5	6.2	6.3	6.3
失業率	%	7.1	10.3	10.3	-	-	-	最小
経常収支	億米ドル		30.0	96.3	-	38.9	-	4.0
	(GDP比)		(1.0)	(2.6)	-	(1.0)	(1.8)	(9社)
財政収支	億米ドル		27.0		-	-	-	
	(GDP比, 年度)		(0.9)		-	-	-	
政府債務残高	億米ドル		412.0	457.2	-	-	-	
	(GDP比, 年度末)		(14.4)	(12.5)	-	-	-	

(備考) インドネシア統計局、財務省、I M F “ International Financial Statistics ”、“ Government Finance Statistics ”、A D B “ Key Indicators ”。  
見通しのA D Bは “ Asian Development Outlook ” (2007年3月)、I M Fは “ World Economic Outlook ” (2007年4月)による。

## <2006～07年の経済>

2006年の経済成長率は5.5%となり、05年(5.7%)をやや下回ったものの堅調に推移した。年前半から年央にかけて、物価高と高金利により、個人消費や投資が伸び悩んだものの、輸出が同13.7%と好調に推移し、外需が3年ぶりにプラスの寄与に転じ景気を下支えた。また、05年10月に実施された燃料価格引き上げの影響により、前年比二桁台の高い伸びで推移していた消費者物価上昇率は、06年末には同6%程度に落ち着いた。

07年は、輸出の伸びが緩やかになるものの、物価の安定及び金利引下げの影響等から個人消費等の内需の回復が見込まれ、成長率はやや加速し6%前後の成長になると見込まれる(政府見通し6.3%(06年10月時点)、民間機関9社の平均5.9%(07年4月時点))。